

令和4年太宰府市議会第2回（6月）定例会 議事日程

《 第 4 日 》

令和4年6月22日（水）午前10時開議

日程第1 | 再開宣言
一般質問
散会宣言 | (下記、一般質問者及び質問項目一覧表のとおり)

記

一般質問者及び質問項目一覧表

順位	質問者 【議席番号】	質問項目
1	小島 真由美 【15】	<p>1 コロナ禍における原油価格、物価高騰に対する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について 原油価格、物価高騰による本市への影響についてどのように捉えているか。また市の実情に応じた支援が必要であると考え2点伺う。 (1) 原材料高騰による学校給食の保護者負担の軽減や、子ども食堂を行う民間団体の活動支援など、子どもの食や健康を守るための活用や、生活困窮者に対する支援に活用できないか。 (2) 農家や中小企業を守るための支援に活用できないか。</p> <p>2 子どもの権利条例を制定することについて 子どもの権利条約に定められた子どもの権利の理念に基づき、子どもの尊厳と権利が尊重されるよう、子どもの権利条例の制定が全国的に広がっている。深刻化するいじめや虐待、さらには近年社会問題になっているヤングケアラーなど、子どもを取り巻く環境が複雑化する中、本市では子ども議会や子ども学生未来会議の開催、この度発表された全員喫食での中学校完全給食の実現など子どもを育む市の取り組みも進められている。この機運の中で条例制定への取り組みに動き出すべきであると考え見解を伺う。</p>
2	入江 寿 【6】	<p>1 太宰府検定について 太宰府検定について2点伺う。 (1) 太宰府検定の目的や役割について (2) 太宰府検定問題の有効活用について</p> <p>2 中学校部活動について 中学校部活動について2点伺う。 (1) 中学校部活動の現状について (2) 令和5年度以降の部活動について</p>

3	馬場 礼子 【2】	<p>1 【日本遺産】について</p> <p>太宰府は、歴史と文化に象徴されるまちである。それを証明する形として、2015年4月、日本初「日本遺産」認定を受けた。太宰府が太宰府であることの意味をしっかりと受け止め、認定継続となったこと、コロナも落ち着き、外国人観光客受け入れも始まったことを踏まえ、以下の件に関して伺う。</p> <p>(1) そもそも、「日本遺産」とは何か。</p> <p>(2) 認定を受け、本市はその意義をどのように受け止められたか。</p> <p>(3) 本市のストーリーによるパッケージ化の構想に関して3点伺う。</p> <p>①日本遺産に関する今までの本市の具体的な取り組みと反響について</p> <p>②文化財をはじめとした周辺地域の一体的な整備活用について</p> <p>③国内外への積極的かつ戦略的・効果的発信について</p> <p>(4) 学校教育での活用方法。</p> <p>(5) 国内外の来訪者に対するボランティア解説員などの人材育成。</p> <p>(6) 2021年7月、再審査となった結果を受けての見解と今までと違う具体的な新たな取り組みはあるか。</p> <p>(7) 市長の歴史のまち『太宰府』への思い。</p>
4	笠利 毅 【11】	<p>1 高齢者世帯の外出支援について</p> <p>高齢者にとって積極的に外出することはとても大切だ。タクシー代の補助は可能か。</p> <p>2 「新しい公共」について</p> <p>市長選では「新しい公共の促進」を訴え、施政方針にも掲げられた。これは何か。</p>
5	橋本 健 【17】	<p>1 産業と観光活性化について</p> <p>(1) 本市の特産品開発の現状と課題について</p> <p>昨年からはじめた『令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト推進事業』、現在、安定した梅の生産量は確保できているのか。また、商品開発はどのように進展しているのか伺う。</p> <p>(2) 観光資源の有効活用について</p> <p>本市には歴史的文化遺産が点在しているが、観光資源として十分に有効活用されていないのは残念である。歴史探訪に視点を置いた史跡めぐりや一般観光に定期便としてまほろば号を運行する方法もある。さらに、これらを活かした滞在型観光に力を入れていただきたいと思うが見解を伺う。</p> <p>(3) 坂本八幡宮のPRについて</p> <p>平成31年4月1日に坂本八幡宮が元号「令和」のゆかりの地として全国に公表されてから4年目を迎えたが、周辺整備や誘致活動が足りないと感じる。坂本八幡宮が未来永劫の観光スポットになれるよう行政の応援が必要と考えるが見解を伺う。</p>

6	陶山良尚 【14】	<p>1 市内大型マンション建設及び宅地開発に伴う周辺地域の環境整備について</p> <p>市内においては、大型マンションの建設が進み、他方では宅地開発も計画されている。宅地開発により人口が増えることは本市にとってもプラスではあるが、それに伴う道路事情等環境整備が追いついていないのが現状ではないか。建設完了後を想定し、早い段階で周辺地域の現状を把握し課題解決に向けた対策を講じていく必要があると考える。そこで次の2点について伺う。</p> <p>(1) 市内における大型マンションや宅地開発の現状について</p> <p>(2) 通古賀区内に建設中の大型マンション建設後の周辺地域における道路等の対策について</p>
7	今泉義文 【3】	<p>1 声掛けによる地域コミュニティの活性化について</p> <p>子ども達の安全確保や元気づけのために、登校見守りを行っている。少しずつコミュニケーションが取れてきて、繋がりができてきた。地域ぐるみで子ども達に関わることが大事であるという観点から2点伺う。</p> <p>(1) 自治体や各団体への応援体制作りについて</p> <p>(2) 人が外に出やすくなる仕組み作りについて</p> <p>2 道路状況改善について</p> <p>道路状況について、補修工事が必要だと思われる箇所が散見される。交通量が多い所は、道路の傷み方も激しく、通行人や車への損害が発生すると考えられることから危険箇所の情報収集体制について伺う。</p> <p>3 持続可能な中学校の部活動のあり方について</p> <p>中学校の部活動については、教員の働き方改革や少子化による部員不足による問題などが考えられる。スポーツ庁の有識者会議では、段階的に休日の部活動を地域のスポーツクラブなどに委託していくべきであるという提言もあることから2点伺う。</p> <p>(1) 参加チームについて</p> <p>(2) 指導体制について</p>